

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年 3 月31日
【会社名】	株式会社エフ・コード
【英訳名】	f-code Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 工藤 勉
【本店の所在の場所】	東京都新宿区神楽坂一丁目 1 番地
【電話番号】	03-6272-8991
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 衣笠 慎吾
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区神楽坂一丁目 1 番地
【電話番号】	03-6272-8991
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 衣笠 慎吾
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社は、2026年3月4日付で財務上の特約が付された金銭消費貸借契約を締結しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の4の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．金銭消費貸借契約の締結年月日

2026年3月4日

2．金銭消費貸借契約の相手方の属性

株式会社みずほ銀行

3．本契約に係る債務の元本の額及び弁済期限並びに当該債務に付された担保の内容

債務の元本の額 1,630百万円

弁済期限 2033年2月28日

担保の内容 無担保

当社子会社の株式会社AI ONE及び株式会社ONEは、当該債務について連帯保証を行う。

4．財務上の特約の内容

2026年12月期決算を初回とし、以降各事業年度の決算期の末日における借入人の連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を、2025年12月期決算と直前の事業年度の決算期末日における借入人の連結の貸借対照表上の純資産の部の金額のいずれか高い方の金額の50%以上とすること。

各事業年度の決算期における借入人の連結の損益計算書において以下の計算式にて計算される本業営業損益が、2026年12月期を初回とし、以降の決算期につき2期連続して損失とならないようにすること。

（計算式）本業営業損益＝営業利益－その他の収益＋その他の費用

各事業年度の決算期における借入人の連結損益計算書及び連結貸借対照表において以下の計算式にて計算されるネット・レバレッジ・レシオを、2026年12月期を初回とし、以降の決算期につき6倍以内に維持すること。

（計算式）ネット・レバレッジ・レシオ＝（有利子負債－現預金）／EBITDA

有利子負債＝短期借入金＋1年以内返済長期借入金＋1年以内償還社債＋長期借入＋社債（新株予約権付社債を含む。）

EBITDA＝営業利益＋減価償却費（リース減価償却費を含むが、営業利益から控除されているものに限る。）＋のれん償却費（営業利益から控除されているものに限る。）＋その他償却費＋のれんの減損